

# 「大変？認知症の人へのリハビリって？！～認知症とリハビリテーション～」

2019年7月9日(火) 18:30～20:00

目黒区総合庁舎2階 大会議室



## 【第一部】ミニ講義(20分)

「認知症の方に関わる上で大切なこと」

目黒区認知症疾患医療センター

三宿病院 清塚 鉄人先生

認知症のタイプ別対応の仕方など基礎知識の講義



### ディスカッションテーマ①

「拒否があっても入れない

(リハビリの必要性を理解してもらえない)」

### ディスカッションテーマ②

「本人・家族とサービス提供側との意向の違い」

## 【第二部】

区内で働く実践家とのディスカッション(40分)

- ・三宿病院  
医師 清塚 鉄人氏
- ・訪問看護ステーションSTORY学芸大学  
看護師 丸田 恵子氏
- ・日扇会第一病院 リハビリデイサービス  
理学療法士 萩原 和美氏
- ・東が丘デイホームしいの木  
介護福祉士 間 麻里子氏
- ・三宿病院  
言語聴覚士 前田 順子氏

## 【参加職種】

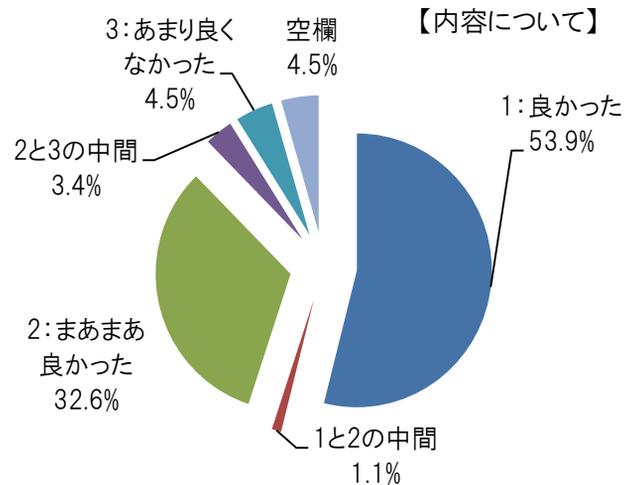
ケアマネジャー	36
介護支援	2
理学療法士	17
看護師、保健師	14
介護職	8
社会福祉士、相談員、SW	10
言語聴覚士	2
作業療法士	1
医師	1
機能訓練指導員	1
管理者	1

93名

参加者93名+幹事9名

102名

## 【内容について】



## 【感想(一部抜粋)】

- ・専門職の「分析力」はチームを引っ張る要であると思う。冷静さから、本人、家族にやさしさが伝わると良いと思う。
- ・他職種の方たちの認知症への対応の仕方、生の声がきけて大変参考になりました。
- ・期限を切って関わりを終えるのではなく、生涯支えるリハビリをしたいと思いました。
- ・認知症の方とどうやって関わるか、を考える時に事前の情報収集やその方を受け入れる雰囲気づくりが大切と理解しました。
- ・問題が生じた時、答えは一つではなく、様々なことをトライしてみながらその人に合った答えが出せるのだと感じました。
- ・認知症であってもなくても感じる事は同じであると思う。私たちの立場からだけでなく、本人の目的、なぜそうするのかを考える。まずは聞く。
- ・現実に即した、具体的内容であった。小手先の手法ではなく、取り込み方の理念のような根本的なものを伝えてもらった。
- ・現場での工夫が聞けた。いつも迷うことが多いので参考になった。
- ・第二部はもっと具体的に困ったことの話が聞けると良かった。
- ・認知症の方にリハビリを勧める時のアプローチ方法として良いヒントをいただきました。
- ・リハビリ専門職の認知症の方に対するリハビリの話が聞けるのかと思ってきたので残念でした。